

(部局名 観 光 部)

1.部局としてのアウトソーシングの方針 (重視する効果や、大きな課題などを主題にしてください)		
<p>高知県の観光行政は、観光部が政策の企画、立案を行い、高知県観光コンベンション協会が実行するといった役割分担のもとに進めており、実質的に、コンベンション協会に県の観光事業をアウトソーシングしているというのが現状である。今後、高知県の観光を振興していくためには、より一層の関係機関、関係団体などとの連携のもとに、おもてなしの心を持って観光客を迎え、サービスの向上を目指す必要がある。このことから、観光客が「高知へ来てよかった。」「また来たい。」と言ってくれる仕組みを民間の発想を得て進める。</p>		
2.これまでの状況 (スリム化分を除く)		
現実施計画でのアウトソーシング率		0%
H17～18 発注済件数	アウトソーシング推進関連	0件
	地域版アウトソーシング	0件
H19 予算件数	アウトソーシング推進関連	0件
	地域版アウトソーシング	0件
特記事項 (課題の克服など)		
3.重点的に取り組むアウトソーシング業務とその概要		
(1)取り組む業務 (又は分野)		
<p>高知県おもてなし県民会議運営業務 (会議の運営を委託し、おもてなしの心を県民運動に繋げる「おもてなしアクションプラン」を作成する。)</p>		
(2)当面の課題		
<p>運営業務を円滑に委託し、より効果的な議論を行なうために、高知県おもてなし県民会議の立ち上げ準備 (委員の人選、役割の明確化、スケジュールの作成など) を万全に行なう必要がある。</p>		
(3)進め方や年次の計画など		